



うさ本ファミリー

楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

第78号

発行日

2013年11月19日

(毎月19日刊行)

司書のオススメ本

～最新の子育て情報が分かる本～

<企画展示コーナーから選んでみました>

10月26日(土)、講師に植村裕子先生(香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科助教)をお招きし、「いきいき孫育て講座」を開催しました。参加いただいたみなさま、ありがとうございました!講座では、植村先生は、ご自身の子育て体験などを交えながら、孫育てや育児の新しい常識等、分かりやすくお話してくださいました。

また、先生のお話の後の「質問タイム」では、悩みながらも孫育てに真摯に向き合っている祖父母の方のお声を聞くことができ、人生経験が豊富でも、子育ての経験があっても、孫育ては大変なのだ改めて気づかされました。

わが身を振り返って、いつも孫を可愛がってくれている、おじいちゃんおばあちゃんにもっと感謝しなくては、と思った1日でした。(T)

<おススメbook>



『小児科医ママの「育児の不安」解決BOOK』

森戸やすみ/著

メタモル出版/刊

『おとなごはんと一緒に作るあかちゃんごはん』

高橋若菜/レシピ, まちとこ/編

日東書院本社/刊

『しつけ』

日本放送出版協会(NHK出版)/編

日本放送出版協会/刊



新しい本が
入りました。

()内の数字は
棚の番号です

『わが子がぐっすり眠れる魔法のスイッチ』

ハーヴェイ・カープ/著, 土屋京子/訳

講談社/刊

2013.8

(支援1-4)

『1週間でカンタン! 毎日着せたいキッズニット』

岡まり子/[著]

アップルミンツ/刊

2013.8

(支援2-1)

『お母さんのための「女の子」の育て方』

高濱正伸/著
実務教育出版/刊

2013.9

(支援3-3)

『見えにくい子どもへのサポートQ&A』

氏間和仁/編著
読書工房/刊

2013.1

(支援4-3)

企画展示「おじいちゃん おばあちゃんも楽しんで! ~孫育て応援本~」展

子育て支援コーナーにて、平成25年11月24日(日)まで開催中!

働く母親が出張した時は・・・

仕事で私が1泊2日の出張をした時、娘はまだ2歳半だった。私がいけない間は夫が自分の実家に連れて行き、夫の母（娘にとっては父方の祖母）と世話をすることにした。

私がいけない状態での外泊は初めてで、ただでさえ外が暗くなると「かえるー、おうちかえるー」と泣く娘は、当然のことながらむずがった。「かあちゃんおらんー、どこー？」と半べその娘をなだめ、ごまかし、あやして何とか寝かしつけたという。

寝る前には必ず絵本を読む習慣がある娘のため、父方の祖母は『どんどこももんちゃん』（とよたかずひこ／さく 童心社）に手をのぼしかけ、「この絵本は今夜読んではいけない」と思いとどまったそうだ。主人公のももんちゃんは泣きながら走り続け、最後に母親の胸の中へ飛び込む。うーん、確かにまずいだらう。

その晩は別の絵本を読んだという姑の配慮に感謝しつつ、私は帰宅した晩に『ぶくちゃんのたくさんだっこ』（ひろかわさえこ／さく アリス館）を娘に読んだ。主人公のぶくちゃんは、母親が1人で外出するため、祖父母宅に預けられる。仕事が終わったお父さんが迎えに来て自宅に戻るのだが、母親の帰宅前に眠くなってしまう。眠い目をこすりながら待っていると、とうとう帰って来た！という絵本。

娘は私の膝に座り、嬉しそうに絵本を眺めていた。そしてぶくちゃんがお母さんに抱っこされたページでは、幸せそうなお母さんの顔を何度も撫でた。

そういえば、夫と駅まで迎えに来た時、帰りの車の中で娘は何度も「かあちゃん、おしごとおわってよかったね」と繰り返した。たった2歳半で、働く母親はいつも一緒にいてくれる訳ではないことを受け止め、でも本当は一緒にいてほしいのだ、と意思表示する。幼い娘の言葉は、今でも忘れられない。ぶくちゃんの絵本は、今もわが家の本棚にある。(O)



●●● 担当からのごあいさつ ●●●

子育て支援担当になってから1年7ヶ月。私事ですが、今月から産休を取らせていただくことになりました。

前任者が作り上げたコーナーを引き継ぎ、もう一人の担当と一緒に、さらに利用しやすくすることをめざしてきました。毎朝、乱れた本やチラシを並べ直したり、本の動き（2～4月には通園バッグの作り方や、PTA関係の本の貸出が増える、等）を覚えて本を追加するなど、こまめな作業が必要でした。3ヶ月に1回の企画展示の準備や、イベントの企画は、アイデアを出すのが苦しいながらも、楽しくやりがいのある仕事でした。

実は切迫流産の治療のため、すでに仕事を休ませていただいています。妊娠・出産というのは計算できないものだと痛感しました。不安なとき、正しい知識があれば判断に役立ちます。改めて、忙しい子育て中の方のために、よい本を選んで準備したいと思うようになりました。無事出産し、復帰した際には、もっとたくましい母となって、コーナーを充実させていきたいと思えます。(H)

